



「安心と安全を次の世代に」  
**KATO-DENKI**  
加藤電機株式会社  
<http://www.kato-denki.com>

内容をご熟読ください

自動車盗難警報器

**HORNET**<sup>®</sup>  
*Bee Sensor*<sup>™</sup>  
**BEE 500**

お願い

本説明書には車載物盗難保険及び見舞金制度についての記載がございますが、2009年12月31日を持って終了いたしました。ご了承ください。

取扱説明書



「安心と安全を次の世代に」  
**KATO-DENKI**

## **HORNET®** *Bee Sensor™*

この度は Bee Sensor をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書に記した注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でより長くご愛用くださるようお願いいたします。  
本書は無くさないよう、大切に保管しておいてください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、ホーネットカスタマーセンターまでご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は2005年10月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET® は加藤電機株式会社および Directed Electronics, Inc. の日本国および米国における登録商標です。  
クリックトーン® は加藤電機株式会社の登録商標です。  
KATO-DENKI Bee Sensor™ ダイアグノスティック™ など、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の商標です。

<b>お取り扱い上の注意</b> .....	<b>5</b>
安全上の注意 .....	6
使用上の注意 .....	6
<b>梱包物をご確認ください</b> .....	<b>8</b>
Bee Sensor BEE500の梱包物 .....	8
<b>本製品の説明</b> .....	<b>9</b>
Bee Sensor BEE500とは .....	9
本書に出てくる主な用語の解説 .....	10
システム .....	10
システム ON / OFF .....	10
警告 / 警報 .....	10
確認音 .....	10
ドッキングインストール .....	10
セパレーションインストール .....	10
<b>取付方法</b> .....	<b>11</b>
メインユニットの各部の名称 .....	11
内蔵バッテリーについて .....	12
<b>各種機能の紹介</b> .....	<b>13</b>
センサーについて .....	13
2段階超音波センサー .....	13
ドアトリガー® (セパレーションインストール) .....	14
イグニッション ON センサー (セパレーションインストール) .....	14
電源断線センサー (セパレーションインストール) .....	14
サイレン・音について .....	15
120dB 大音量サイレン .....	15
クリックトーン® .....	15
消音機能 .....	15
警報タイム変更機能 .....	16
警告 ON / OFF .....	16

リモコンについて .....	17
デジタルリモコン .....	17
コードホッピング® .....	17
ビーフラッシャーについて .....	18
スキャン機能 .....	18
スキャンパターン変更機能 .....	18
サーチフラッシュ .....	18
LED フラッシュ機能 .....	18
異常確認について .....	19
メモリー機能 .....	19
ダイアグノスティック™機能 .....	19
迷惑防止機能 .....	20
システム操作の機能について .....	20
キャンセラーモード .....	20
パニックモード (強制警報) .....	20
ハイセキュリティ解除機能 .....	21
エンジンスターター / ターボタイマーとの併用について .....	21
セパレーションインストール時 .....	21
ドッキングインストール時 .....	21
その他の機能について .....	22
バッテリーセーブ機能 .....	22
システムバックアップ機能 .....	22

## 操作方法 .....

<b>23</b>	
リモコンの各部の名称 .....	23
操作方法 .....	23
システムを ON (作動) にする .....	23
システムを OFF (解除) にする .....	24
クリックトーン消音機能 .....	25
パニックモード .....	25
キャンセラーモード .....	26
ハイセキュリティ解除機能 .....	26
サーチフラッシュ .....	27
スキャンパターン変更 .....	27

2段階超音波センサーの感度調整方法.....	28
警告モードの感度調整方法.....	28
警報モードの感度調整方法.....	30
<b>機能設定.....</b>	<b>31</b>
機能設定内容の紹介.....	31
機能設定手順.....	32
1. クリックトーン【ON/OFF (標準設定 ON)】.....	32
2. 警報タイム【30 / 15 / 10 / 5 / 0秒 (標準設定 30秒)】.....	33
3. 警告【ON / OFF (標準設定 ON)】.....	34
4. イグニッション入力タイプ【センサー/シャント (標準設定 センサー)】.....	36
5. シガープラグ入力タイプ【ACC / 常時電源 (標準設定 ACC)】.....	38
6. バッテリーセーブ機能【ON / OFF (標準設定 ON)】.....	40
<b>トラブルシュート.....</b>	<b>42</b>
故障かな?と思ったら.....	42
<b>アフターサービスについて.....</b>	<b>43</b>
アフターサービスについて.....	43
保証書について.....	43
修理を依頼されるときは.....	43
<b>お問い合わせ先・製品仕様.....</b>	<b>44</b>

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



**危険**

取り扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



**警告**

取り扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



**注意**

取り扱いを誤った場合、使用者などが損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項。



**禁止**

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



**ヒント**

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒントなどを説明。また、アクセサリを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒントなどを説明。



強制・制約・指示などを表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

## 安全上の注意

## 警告

- リモコンはお子様の手の届かないところに保管してください。システムを解除してしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
- 本製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行なった製品の保証は一切していません。
- 本製品は大音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を起動させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。
- 本製品付属のピーフラッシャーおよびピーフラッシャー延長ハーネスは、USB 機器との接続は行なわないでください。本製品および USB 機器を破壊する恐れがあります。



## 危険

- DC12V 車両専用  
24V 車両には装着できません。



## 使用上の注意

## (1) リモコンの取り扱いに関する注意

## 注意

- リモコンは落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
- 持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- リモコンの電池が消耗した場合、リモコンの効きが悪くなってきます。早めに電池交換をしてください。
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入後の使用できる期間に差があります。また、保証対象外となりますので無償交換等は一切致しておりませんのであらかじめご了承ください。電池が消耗している場合には新しい電池をお求めくださいますようお願い申し上げます。
- 電波塔が近くにあるなどの電波障害がある環境の場合、リモコンの飛距離が著しく短くなる場合があります。



## (2) 使用方法についての注意

## 注意

- テストの際はガラスやボディなどが破損しないように十分注意してください。当社では万一破損などが発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合などは特にご注意ください(セパレーションインストール時)。
- 何らかの理由で、リモコンのボタンが押された場合には、走行中であってもバニックモードにより警報(サイレン音)が鳴りだす場合がありますが、あわてずにリモコンによりサイレンを止めてください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品は防水構造ではないため内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している個所では混信を受ける可能性が全くないわけではありません。

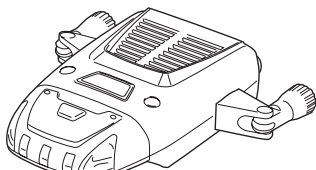


## 必ずお読みください

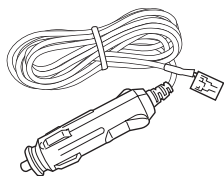
- 国産車限定  
日本国内メーカーの車両に対応しています。並行輸入車、外国車への取り付けサポートは行なっておりません。
- 本製品の超音波センサーは取り付け位置によって感度が大きく変わります。
- 本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任は一切負いかねますのでご了承ください。
- 当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行なっておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。接続をした場合は、本製品のみならず車両の機器を破壊する恐れがあります。
- 車種により本製品の接続が不可能場合があります。

## 1 Bee Sensor BEE500の梱包物

取り付けの前に必ずご確認ください。



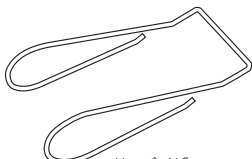
メインユニット×1台



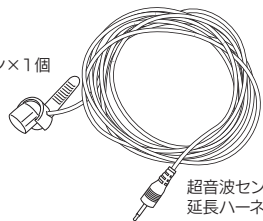
シガープラグ×1束



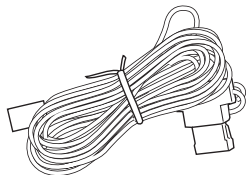
専用リモコン×1個



サンバイザー  
クリップ×1個



超音波センサー  
延長ハーネス×2束



プロハーネス×1束

### <その他の梱包物>

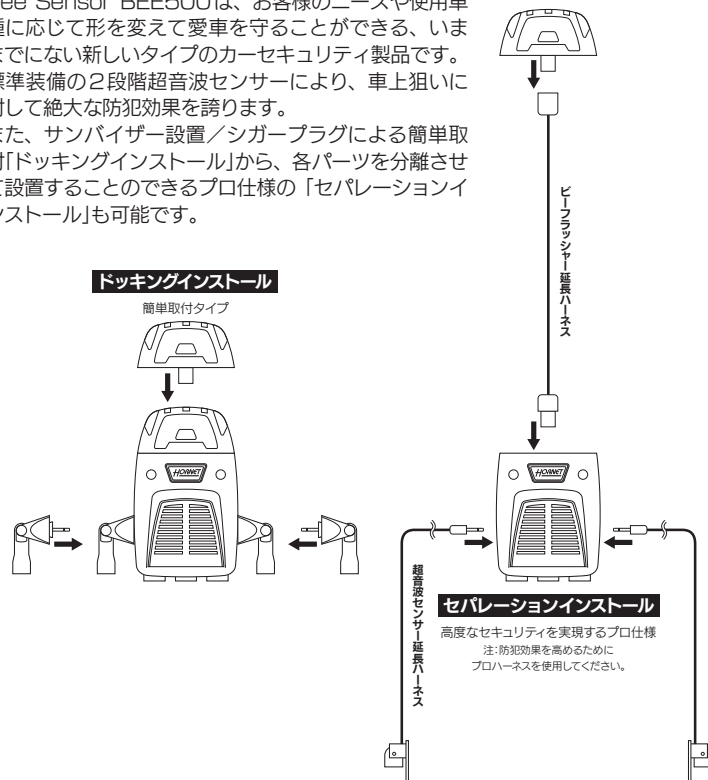
- ・取扱説明書×1冊
- ・丸ステッカー×1シート
- ・製品保証書兼ユーザー登録ハガキ×1枚
- ・プライバシー保護シール×1枚
- ・ホーネットステッカー×1シート
- ・配線止め金具×5個
- ・ビーフラッシャー延長ハーネス×1本
- ・内蔵バッテリー×1個
- ・インシュロック(長)×2本、(短)×3本
- ・両面テープ(メインユニット用)×1枚  
(ビーフラッシャー用)×1枚  
(超音波センサー用)×2枚

※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。  
側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行は致しません。

※本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 1 Bee Sensor BEE500とは

Bee Sensor BEE500は、お客様のニーズや使用車種に応じて形を変えて愛車を守ることができる、いままでにない新しいタイプのカーセキュリティ製品です。標準装備の2段階超音波センサーにより、車上狙いに対して絶大な防犯効果を誇ります。また、サンバイザー設置/シガープラグによる簡単取付「ドッキングインストール」から、各パーツを分離させて設置することのできるプロ仕様の「セパレーションインストール」も可能です。



# TRANSFORM!!

## 1 本書に出てくる主な用語の解説

### システム

Bee Sensor BEE500のセキュリティシステムのことを示します。

### システム ON / OFF

Bee Sensor BEE500のシステムの作動／解除のことを示します。  
「ON（作動）」することでセキュリティが動き警戒態勢をとります。  
「OFF（解除）」することでセキュリティが無効となり警戒態勢を解きます。

### 警告／警報

Bee Sensor BEE500が車両の異常を検出した場合に、サイレンを鳴らして威嚇することを示します。  
警告は、サイレンからの音“ピッピッピ……（警告音）”で行なわれます。  
警報は、ビーフラッシャーの点滅およびサイレンからの音“ビ——ッ！！（警報音）”で行なわれます。

### 確認音

システムのON / OFFや機能設定などを行なった場合などに、確認音が鳴ります。  
確認音は、操作の内容によって異なります。

### ドッキングインストール

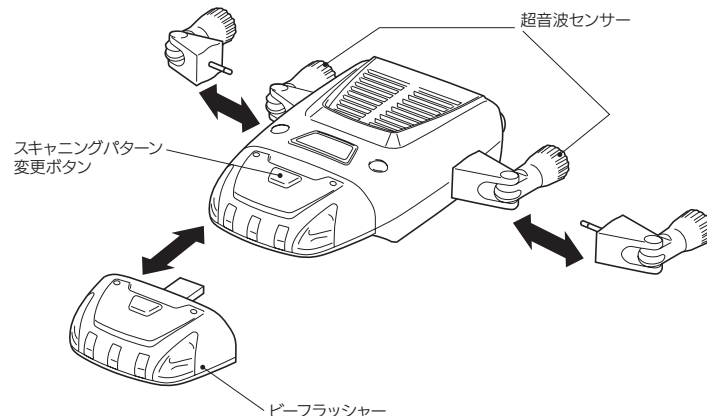
Bee Sensorのメインユニットをサンバイザーに取り付け、車両のシガーライターソケットから電源を取得する簡単取付のことを示します。

### セパレーションインストール

Bee Sensorの各パーツを分離し（セパレーション）、プロハーネスを使用して行なう本格取付のことを示します。

## 1 メインユニットの各部の名称

- 超音波センサーは取り外し可能です。超音波センサーをAピラーなどに設置する場合は、付属の超音波センサー延長ハーネスを使用して取り付けます。



- ビーフラッシャーは取り外し可能です。ビーフラッシャーをダッシュボードなどに設置する場合は、付属のビーフラッシャー延長ハーネスを使用してビーフラッシャーを設置します。

### 1 内蔵バッテリーについて

#### ■充電(ドッキングインストール)

シガープラグを車両のシガーソケットに差し込んだ状態でエンジンキーを回し、シガーソケットに電源(DC12V)が供給されると、充電を行ないます。



ヒント

安全のためシガープラグは常時シガーソケットに差し込んでおいてください。

#### ■充電(セパレーションインストール)

運転中(イグニッションがON中)に、常に充電された状態になっています。

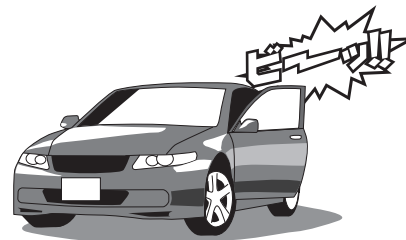


注意

- 内蔵バッテリーが放電した状態から満充電の状態になるには、およそ3時間の充電が必要です。  
満充電になった場合、自動的に充電は終了します。
- 本製品は0℃～45℃以外の環境下では充電は行なえません。この温度範囲外で充電を行おうとしたときは充電を行ないません。充電可能温度範囲に戻ったら、充電を開始します。
- 1回の満充電で約5日間の警戒が可能ですが、検回数が多い場合などの条件によってはこの期間は短くなります。
- 内蔵バッテリーの寿命は約3年です。寿命を超えてご使用された場合は、満充電を行なってもすぐに電池がなくなるなどの現象が起こります。この場合は新しい内蔵バッテリーにお取替ください。
- 5日間以上充電していない場合は、最低1時間以上充電してからシステムをONにしてください。
- 長時間本製品を使用しない場合には、本製品を車両から取り外し、内蔵バッテリーを外した状態にしてください。
- 内蔵バッテリーを破棄する場合には、各地方自治体の指示に従ってください。

### 1 センサーについて

システムON中に、本製品に搭載されているセンサーが異常をキャッチした場合には、警告や警報で不審者を威嚇します。



### 2段階超音波センサー

車内に超音波を張り巡らせることで、車両への衝撃やガラス割り、さらにはドア開けや車室内への侵入をキャッチすることができます。

センサーの反応具合により、警告や警報を鳴らし分けることが可能です。使用車種や目的に応じた感度調整(P.28～30)を行なって使用してください。



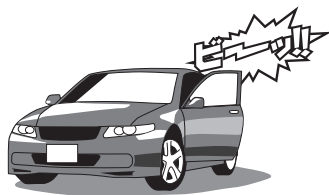
注意

- 超音波センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因(幹線道路周辺、工事現場や工場の近く、飛行場周辺、バックファイヤーの激しい車の往来、台風その他)による微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にもサイレンが鳴る場合があります。センサーの特徴をよく理解し、ご使用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご使用ください。
- 一般的に超音波センサーでボディその他への傷つけを防ぐことはできません。



### ドアトリガー® (セパレーションインストール)

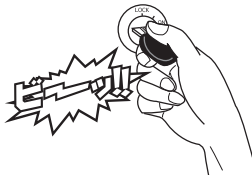
ドアが開けられたことをキャッチし警報を鳴らすことができるセンサーです。セパレーションインストール時のみ有効です。



### イグニッション ON センサー (セパレーションインストール)

エンジン始動 (イグニッション ON) されたことをキャッチし警報を鳴らすことができるセンサーです。

セパレーションインストール時に、設定されている場合のみ有効です。

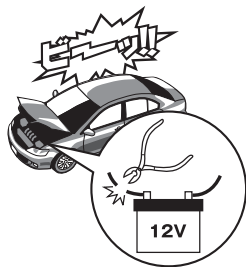


### 電源断線センサー (セパレーションインストール)

バッテリーを外された場合や電源配線を切断された場合に、内蔵バッテリーにより警報を鳴らし威嚇します。

セパレーションインストール時のみ有効です。

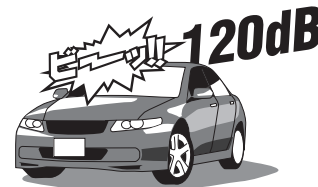
警報後は引き続きセキュリティの警戒状態を維持します。



## 1 サイレン・音について

### 120dB 大音量サイレン

本体には最大約120dBの音圧により警報出力を行なうサイレンが内蔵されています。製品の操作時や、各センサー反応時などに鳴り、作動確認や威嚇を行ないます。



### クリックトーン®

システムの ON / OFF 時に鳴る確認音 (“ピッ”など) を示します。機能設定 (P.32) によって、消音することもできます。



### クリックトーン消音機能

クリックトーンを一時的に鳴らさずにシステムを ON / OFF することができます。使い方に関しては操作方法 (P.25) をご参照ください。



**警報タイム変更機能**

機能設定 (P.33) によって、警報タイムを 0 / 5 / 10 / 15 / 30 秒から選択することができます。

初期設定は 30 秒です。

警報タイムを 0 秒にすると、警報を鳴らさなくなります。また、警報タイムを 0 秒に設定した場合にセンサーが異常をキャッチすると、威嚇のため約 30 秒間ビーフラッシャーが点滅します。

**警告 ON / OFF**

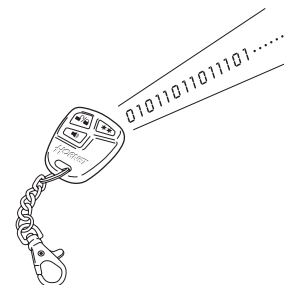
機能設定 (P.34) によって、2 段階超音波センサーが働いた場合の警告を鳴らすかどうかを選択することができます。

警告設定が ON の場合は警告を鳴らし、OFF にすると警告を鳴らさなくなります。

**リモコンについて****デジタルリモコン**

システムの ON / OFF などを含む各種操作を行なうことができる、生活防水タイプのリモコンです。

デジタルリモコンの ID コードの組み合わせは 7378 京 6936 兆通り以上あり、電波の混信によって誤作動することがありません。また、防犯性重視の微弱無線の信号を採用し、おおよそ 5 ~ 10m の距離で操作することが可能です。

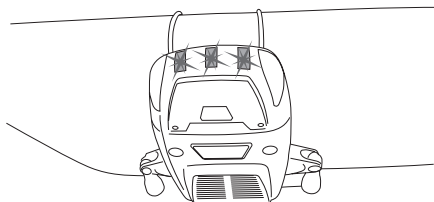
**コードホッピング®**

リモコンの ID コードを特殊なプログラムによりランダムに変化させ、一度使用した ID コードを二度と使用しないため、ID コードのコピーによるセキュリティ解除を完全に防止できます。

## 1 ビーフラッシャーについて

### スキャニング機能

システム ON 中にビーフラッシャーが点滅します。  
セキュリティの装着を犯人に気づかせ防犯効果を高めることができ、また防犯効果以外にもファッション性のアピールもできます。



### スキャニングパターン変更機能

ビーフラッシャーのスキャニングパターン変更ボタンを押すことで、スキャニングパターンを4種類から選択することができます(P.27)。

### サーチフラッシュ

リモコンからの操作で、最大30秒間、ビーフラッシャーを強制的に光らせることができます(P.27)。

### LEDフラッシュ機能

システムのON / OFF時や警報時などに、ビーフラッシャーの青色LEDが点滅します。

動作の確認や、視覚効果による犯人への威嚇が行なえます。

操作	LED点滅
システム ON	1回点滅
システム OFF	2回点滅
警報	サイレンに連動して点滅
システム OFF (発報あり)	4回点滅
迷惑防止機能(P.20)作動時システム OFF	5回点滅

## 1 異常確認について

### メモリー機能

システム ON 中に警報があった場合、システム OFF 時のクリックトーンの変化により以下のことを知らせます。

操作	レポート内容	動作確認音
システム ON	システム ON	ピッ
システム ON	センサーや半ドアを感じてシステム ON	ピッ 約2秒後 ピッ
システム ON	超音波センサーが外れていることをレポート	ピッ 約1秒後 ピッピッピッピッピッ
システム OFF	システム OFF	ピッピッ
システム OFF	サイレンが鳴ったことをレポート	ピッピッピッピッ
システム OFF	迷惑防止機能が働いたことをレポート	ピッピッピッピッピッ

### ダイアグノスティック™機能

システム ON 中に警報があった場合、システム OFF 時のビーフラッシャーの点滅により、どのセンサーが異常を検出し警報したかを確認することができます。  
ダイアグノスティック機能をリセットするには、システムを ON にします。  
約30秒でビーフラッシャーは自動的に消灯します。

LED点滅	発報内容	対応状況	
		ドッキングインストール	セパレーションインストール
なし	—	—	—
	電源断線センサーが反応	—	○
	イグニッション ON センサーが反応	—	△*
	ドアトリガーが反応	—	○
	超音波センサーが反応	○	○

※：セパレーションインストール時にセンサー設定で有効

### 複数のセンサーが検出した場合

複数のセンサーの履歴を確認することができます。  
センサーが発報した順番に関わらず、超音波センサー、ドアトリガー、イグニッション ON センサー、電源断線センサーの順番でビーフラッシャーが点滅します。

### 迷惑防止機能

システム ON 中に合計8回の警報があった場合誤報と判断して以降の警報を鳴らさなくします。

迷惑防止機能は、一度システムを OFF にするとリセットされます。

※ 2段階超音波センサーの警告は働き続けます。

## システム操作の機能について

### キャンセラーモード

リモコンからの操作により、2段階超音波センサーを一時的に働かないようにすることができます (P.26)。

立体駐車場や幹線道路周辺など、衝撃や振動が発生する環境でもセキュリティを使用したい場合に便利です。

### パニックモード(強制警報)

リモコンからの操作により、強制的に警報を鳴らすことができます (P.25)。  
不審者が車両を狙っている場合などに使用すると大変効果がある機能です。



### ハイセキュリティ解除機能

リモコンを操作することで、システムを OFF にすることなく鳴っている警報のみを止めることができます (P.26)。

セキュリティがその場で OFF になってしまわないため、再度のシステム ON を忘れてしまうことを防ぎます。

## エンジンスターター/ターボタイマーとの併用について

### セパレーションインストール時

イグニッションの信号からエンジンの始動状態を検出し、エンジン作動中には2段階超音波センサーを自動的にキャンセルします。

キャンセルされた2段階超音波センサーは、エンジン停止後5秒後に自動復帰します。



**注意**

エンジンスターター/ターボタイマーを使用するには、イグニッション入力タイプをシャント (P.36) にて選択しておく必要があります。

### ドッキングインストール時

シガーソケット (アクセサリ) の信号からエンジンの始動状態を検出し、エンジン作動中には2段階超音波センサーを自動的にキャンセルします。

キャンセルされた2段階超音波センサーは、エンジン停止後5秒後に自動復帰します。



**注意**

ドッキングインストール時は強制的に ACC シャントになります。

## その他の機能について

### バッテリーセーブ機能

システム ON 後に約2日(48時間)経過した場合など、内蔵のバッテリーへの負担が大きくなった場合には、自動的にビーフラッシャーの点滅パターンを変化させてシステムの作動時間を延長します。

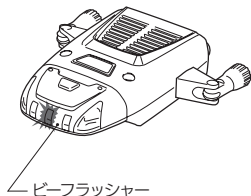
また、バッテリーセーブ機能は、機能設定で無効にすることができます(P.40)。

### 注意

ドッキングインストール時のみ有効です。

### ヒント

バッテリーセーブ機能に移行した場合には、ビーフラッシャーの中央の赤色LEDのみがゆっくり点滅します。



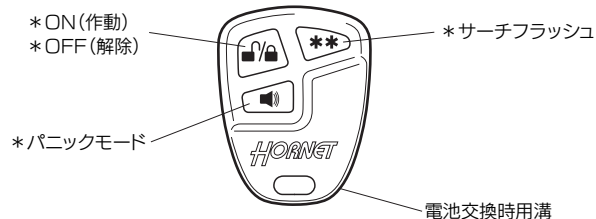
### システムバックアップ機能

エンジン作動中に内蔵のバッテリーを充電します。バッテリーが満充電になると自動的に充電を停止します。

ドッキングインストール時にはこの内蔵バッテリーにより、連続5日間のシステム作動が可能です(満充電時)。

セパレーションインストール時には、この内蔵バッテリーにより、電源線が切断された場合に電源をバックアップし、断線警報を鳴らします(電源断線センサー)。

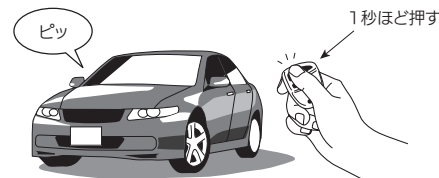
## リモコンの各部の名称



## 操作方法

### システムを ON (作動)にする

- 1 エンジンを停止します。
- 2 クルマから降りすべてのドアを閉めます。
- 3 リモコンの ボタンを1回(1秒ほど)押します。
- 4 “ピッ” とクリックトーンが鳴ると同時に、ビーフラッシャーの青色LEDが1回点滅して ON になります。  
システム ON 中にはビーフラッシャーの赤色LEDが点滅します(点滅パターン:P.27)。



### 注意

#### セパレーションインストール時の注意

イグニッション ON センサー設定時にイグニッション ON をキャッチすると、システム作動することができません。


▶ 24ページに続く

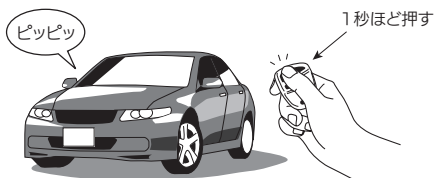
**!** 注意

**セパレーションインストール時の注意**

半ドアの状態ですystemをONにすると、ON後2~3秒後に再度“ピッ”と鳴ります(半ドアレポート機能)。しっかりとドアを閉めてからONにしてください。  
 残照灯が残っている状態でシステムをONにすると、半ドアレポート機能が働くことがありますが、残照灯が消えてから5秒後にシステムが正常作動状態となりドア開けを警戒開始します。

**システムをOFF(解除)にする**


- ① システムON中に、リモコンの  ボタンを1回(1秒ほど)押します。
- ② “ピッピッ”とクリックトーンが鳴ると同時に、ビーフラッシャーの青色LEDが2回点滅してOFFになります。  
 システムOFF中にはビーフラッシャーは消灯します。

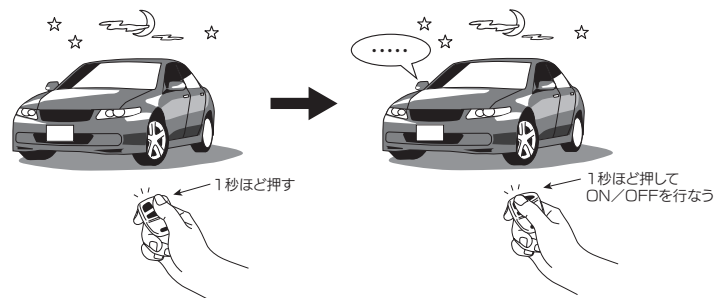


**!** 注意




クリックトーンや青色LEDの点滅回数が2回以外の場合、システムON中に警報があった場合などを示します(メモリー機能、P.19)。その場合ビーフラッシャーはすぐに消灯せず、警報内容によって光り方が変化します(ダイアグノスティック機能、P.19)。

**クリックトーン消音機能**

- ① システムON/OFFの操作前にリモコンの  ボタンを1回(1秒ほど)押しします。
- ② 5秒以内に、システムON/OFF操作を行ないます。
- ③ クリックトーンが鳴らずに、システムがON/OFFします。  
 ビーフラッシャーの青色LEDは点滅します。



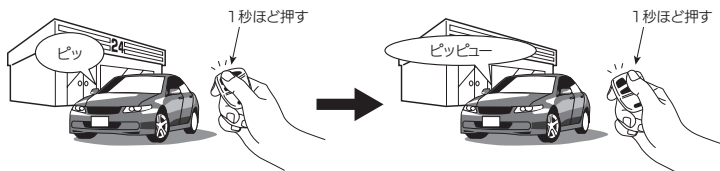
**パニックモード**

- ① リモコンの  ボタンを押し続けます(1.5秒以上)。
- ② 警報が30秒間鳴り続けます。
- ③ 30秒経過するか、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押すことで警報が止まります。



### キャンセラーモード

- ① リモコンの ボタンを押してシステムを ON にします。
- ② 5秒以内に、 ボタンを押します。
- ③ “ピッピー”と確認音が鳴り、2段階超音波センサーをキャンセルした（動かせない）状態でシステムが ON になります。  
キャンセラーモードはシステムを OFF にすると同時に解除されます。

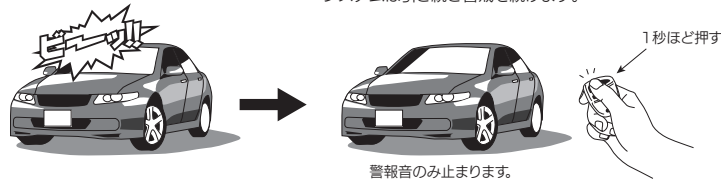


### ハイセキュリティ解除機能

- ① 警報中に、リモコンの ボタンを1回(1秒ほど)押します。
- ② 警報が止まります。  
システムは引き続き ON 状態を維持します。

センサーが異常をキャッチすると警報が鳴り始めます。

警報が鳴っている最中に操作すると警報音のみ止まります。  
システムは引き続き警戒を続けます。



警報音のみ止まります。

### サーチフラッシュ

- ① リモコンの ボタンを押します。
- ② ボタンを押し続けている間、ビーフラッシャーの青色 LED が点灯します。  
青色 LED は30秒ほど点灯させると消灯します。

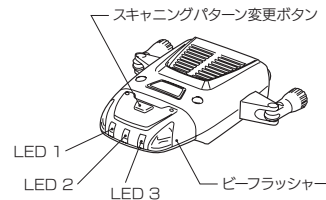


### スキャンニングパターン変更

システム OFF 中にスキャンニングパターン変更ボタンを押すことでビーフラッシャーのスキャンニングパターンを変更することができます。  
スキャンニングパターンは、パターン1⇒パターン2⇒パターン3⇒パターン4と順番に変更します。

パターン 1		パターン 2		パターン 3		パターン 4		
LED		LED		LED		LED		
1	2	3	1	2	3	1	2	3
時間 ↓	○	○	○	○	○	○	○	○
	○		○	○	○	○	○	
		○		○		○		○
			○		○		○	
	○		○	○		○		○
	○		○	○		○		○
		○			○		○	
			○				○	
				○				○
					○			
						○		
							○	
								○



※初期設定はパターン4です。  
※システム ON 中にはスキャンニングパターンの変更はできません。





## 1 2段階超音波センサーの感度調整方法

リモコンからの操作で2段階超音波センサーの感度調整が行えます。  
感度調整は警告モード、警報モードそれぞれ独立して行ないます。

### 警告モードの感度調整方法

1	システムが OFF になっていることを確認します。																											
2	リモコンの  ボタンと  ボタンを同時に2秒ほど押します。 																											
3	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーのLEDが点灯します。 																											
4	リモコンの  ボタンを押します。現在の感度を確認音の回数でレポートします(感度0～7：確認音1～8回)。 ※リモコンの  ボタンを押さずに  ボタンを押すと警告モードの感度調整を終了します。																											
5	<p>リモコンの  ボタンを押すたびに確認音が鳴り感度が上がります。 感度状態は、ビーフラッシャーの点滅表示によって確認できます(右図参照)。</p> <p>リモコンの  ボタンを押すたびに確認音が鳴り感度が下がります。 感度状態は、ビーフラッシャーの点滅表示によって確認できます。</p> <table border="1" data-bbox="413 762 789 1121"> <thead> <tr> <th>感度</th> <th>LED点灯/点滅場所</th> <th>LED状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td></td> <td>点滅</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>点灯</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>点滅</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>点灯</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>点滅</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>点灯</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>点滅</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td></td> <td>点灯</td> </tr> </tbody> </table>	感度	LED点灯/点滅場所	LED状態	7		点滅	6		点灯	5		点滅	4		点灯	3		点滅	2		点灯	1		点滅	0		点灯
感度	LED点灯/点滅場所	LED状態																										
7		点滅																										
6		点灯																										
5		点滅																										
4		点灯																										
3		点滅																										
2		点灯																										
1		点滅																										
0		点灯																										

6	設定したい感度を選択した状態で、リモコンの  ボタンを2回(各1秒ほど)押しします。 (1回押した時点で一度確認音が“ピッ”と鳴ります)	
7	“ピッピッピュー”と確認音が鳴り、設定完了です。	

※感度調整中にセンサーが反応した場合は“ピッピッピッ”と鳴ります。  
※感度を0にすると警告は鳴りません(反応しません)。  
※30秒以上操作をしない場合にも、感度調整は終了します。



## 警報モードの感度調整方法

1	システムが OFF になっていることを確認します。	
2	リモコンの  ボタンと  ボタンを同時に 2 秒ほど押します。	
3	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。	
4	リモコンの  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押します。	
5	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。	
6	リモコンの  ボタンを押します。現在の感度を確認音の回数でレポートします (感度 0 ~ 7 : 確認音 1 ~ 8 回)。 ※リモコンの  ボタンを押さずに  ボタンを押すと警報モードの感度調整を終了します。	
7	リモコンの  ボタンを押すたびに確認音が鳴り感度が上がります。感度状態は、ビーフラッシャーの点滅表示によって確認できます (P.28 図参照)。  リモコンの  ボタンを押すたびに確認音が鳴り感度が下がります。感度状態は、ビーフラッシャーの点滅表示によって確認できます。	
8	設定したい感度を選択した状態で、リモコンの  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押します。	
9	“ピッピッピュー”と確認音が鳴り、設定完了です。	

※感度調整中にセンサーが反応した場合は“ピッピッピッピッ”と鳴ります。

※感度を 0 にすると警報は鳴りません (反応しません)。

※ 30 秒以上操作をしない場合にも、感度調整は終了します。

以下の 6 種の機能内容を変更することができます。

## 1 機能設定内容の紹介

## 1. クリックトーン 【ON/OFF (標準設定 ON)】

クリックトーンの有無を選択できます。

## 2. 警報タイム 【30 / 15 / 10 / 5 / 0 秒 (標準設定 30 秒)】

警報が鳴り続ける時間を選択できます。0 秒を選択した場合には警報は鳴りません。

## 3. 警告 【ON / OFF (標準設定 ON)】

警告を鳴らすかどうかを選択できます。

## 4. イグニッション入カタイプ 【センサー/シャント (標準設定 センサー)】

セパレーションインストール時のみ有効な機能設定です。  
イグニッション ON の信号が入力されたときに、センサーとして警報するか、超音波センサーのみスリープするか (シャント) の選択ができます。  
市販のエンジンスターターやターボタイマーと併用する場合には、必ずシャントに設定してください。

## 5. シガープラグ入カタイプ 【ACC / 常時電源 (標準設定 ACC)】




インストール方法や車両によって変更する必要がある機能設定です。  
ドッキングインストール時、シガーソケットへの電源供給が車両のアクセサリ (オーディオなど) と連動している場合は ACC に、電源供給が常時行なわれている車両の場合は常時電源に設定してください。  
また、セパレーションインストール時には、必ず常時電源側に設定してください。

## 6. バッテリーセーブ機能 【ON / OFF (標準設定 ON)】

バッテリーセーブ機能 (P.22) を使用するかどうかの設定です。  
ドッキングインストール時、シガーソケットへの電源供給が車両のアクセサリ (オーディオなど) と連動している場合にのみ働きます。

## 1 機能設定手順

## 1. クリックトーン 【ON/OFF (標準設定 ON)】

1	システムが OFF になっていることを確認します。										
2	リモコンの  ボタンと  ボタンを同時に2秒ほど押します。										
3	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーのLEDが点灯します。										
4	リモコンの  ボタンを押すたびに確認音が鳴り設定内容が変わります。 設定内容は、確認音の回数とビーフラッシャーの点滅表示によって確認できます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>確認音</th> <th>ビーフラッシャー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリックトーン ON</td> <td>ピッ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クリックトーン OFF</td> <td>ピッピッ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設定内容	確認音	ビーフラッシャー	クリックトーン ON	ピッ		クリックトーン OFF	ピッピッ	
設定内容	確認音	ビーフラッシャー									
クリックトーン ON	ピッ										
クリックトーン OFF	ピッピッ										
5	設定したい内容を選択した状態で、リモコンの  ボタンを1回(1秒ほど)押します。										
6	“ピッピッピュー”と確認音が鳴り、設定完了です。										

※ 15秒以上操作をしない場合にも、機能設定は終了します。



## 2. 警報タイム【30 / 15 / 10 / 5 / 0秒(標準設定 30秒)】

1	システムが OFF になっていることを確認します。																			
2	リモコンの  ボタンと  ボタンを同時に2秒ほど押します。																			
3	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーのLEDが点灯します。																			
4	リモコンの  ボタンを1回(1秒ほど)押します。																			
5	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーのLEDが点灯します。																			
6	リモコンの  ボタンを押すたびに確認音が鳴り設定内容が変わります。 設定内容は、確認音の回数とビーフラッシャーの点滅表示によって確認できます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>確認音</th> <th>ビーフラッシャー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>警報タイム 30 秒</td> <td>ピッ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警報タイム 15 秒</td> <td>ピッピッ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警報タイム 10 秒</td> <td>ピッピッピッ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警報タイム 5 秒</td> <td>ピッピッピッピッ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警報タイム 0 秒</td> <td>ピッピッピッピッピッ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設定内容	確認音	ビーフラッシャー	警報タイム 30 秒	ピッ		警報タイム 15 秒	ピッピッ		警報タイム 10 秒	ピッピッピッ		警報タイム 5 秒	ピッピッピッピッ		警報タイム 0 秒	ピッピッピッピッピッ	
設定内容	確認音	ビーフラッシャー																		
警報タイム 30 秒	ピッ																			
警報タイム 15 秒	ピッピッ																			
警報タイム 10 秒	ピッピッピッ																			
警報タイム 5 秒	ピッピッピッピッ																			
警報タイム 0 秒	ピッピッピッピッピッ																			
7	設定したい内容を選択した状態で、リモコンの  ボタンを1回(1秒ほど)押します。																			
8	“ピッピッピュー”と確認音が鳴り、設定完了です。																			

※ 15秒以上操作をしない場合にも、機能設定は終了します。

## 3. 警告【ON / OFF (標準設定 ON)】











1	システムが OFF になっていることを確認します。										
2	リモコンの  ボタンと  ボタンを同時に 2 秒ほど押します。										
3	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。										
4	リモコンの  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押します。										
5	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。										
6	リモコンの  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押します。										
7	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。										
8	リモコンの  ボタンを押すたびに確認音が鳴り設定内容が変わります。 設定内容は、確認音の回数とビーフラッシャーの点滅表示によって確認できます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>確認音</th> <th>ビーフラッシャー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>警告 ON</td> <td>ピッ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警告 OFF</td> <td>ピッピッ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設定内容	確認音	ビーフラッシャー	警告 ON	ピッ		警告 OFF	ピッピッ	
設定内容	確認音	ビーフラッシャー									
警告 ON	ピッ										
警告 OFF	ピッピッ										

9	設定したい内容を選択した状態で、リモコンの  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押します。	
10	“ピッピッピュー”と確認音が鳴り、設定完了です。	

※ 15 秒以上操作をしない場合にも、機能設定は終了します。

## 4. イグニッション入カタイプ【センサー/シャント(標準設定 センサー)】

1	システムが OFF になっていることを確認します。	
2	リモコンの  ボタンと  ボタンを同時に 2 秒ほど押します。	
3	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。	
4	リモコンの  ボタンを 1 回(1 秒ほど)押します。	
5	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。	
6	リモコンの  ボタンを 1 回(1 秒ほど)押します。	
7	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。	
8	リモコンの  ボタンを 1 回(1 秒ほど)押します。	

9	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。										
10	リモコンの  ボタンを押すたびに確認音が鳴り設定内容が変わります。 設定内容は、確認音の回数とビーフラッシャーの点滅表示によって確認できます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>確認音</th> <th>ビーフラッシャー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イグニッション入カタイプ センサー</td> <td>ピッ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イグニッション入カタイプ シャント</td> <td>ピッピッ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設定内容	確認音	ビーフラッシャー	イグニッション入カタイプ センサー	ピッ		イグニッション入カタイプ シャント	ピッピッ	
設定内容	確認音	ビーフラッシャー									
イグニッション入カタイプ センサー	ピッ										
イグニッション入カタイプ シャント	ピッピッ										
11	設定したい内容を選択した状態で、リモコンの  ボタンを 1 回(1 秒ほど)押します。										
12	“ピッピッピュー”と確認音が鳴り、設定完了です。										

※ 15 秒以上操作をしない場合にも、機能設定は終了します。

## 5. シガープラグ入カタイプ【ACC / 常時電源(標準設定 ACC)】

1	システムが OFF になっていることを確認します。	
2	リモコンの  ボタンと  ボタンを同時に 2 秒ほど押します。	
3	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。	
4	リモコンの  ボタンを 1 回(1 秒ほど)押します。	
5	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。	
6	リモコンの  ボタンを 1 回(1 秒ほど)押します。	
7	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。	
8	リモコンの  ボタンを 1 回(1 秒ほど)押します。	

9	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。										
10	リモコンの  ボタンを 1 回(1 秒ほど)押します。										
11	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。										
12	リモコンの  ボタンを押すたびに確認音が鳴り設定内容が変わります。 設定内容は、確認音の回数とビーフラッシャーの点滅表示によって確認できます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定内容</th> <th>確認音</th> <th>ビーフラッシャー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACC</td> <td>ピッ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常時電源</td> <td>ピッピッ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設定内容	確認音	ビーフラッシャー	ACC	ピッ		常時電源	ピッピッ	
設定内容	確認音	ビーフラッシャー									
ACC	ピッ										
常時電源	ピッピッ										
13	設定したい内容を選択した状態で、リモコンの  ボタンを 1 回(1 秒ほど)押します。										
14	“ピッピッピュー”と確認音が鳴り、設定完了です。										

※ 15 秒以上操作をしない場合にも、機能設定は終了します。

## 6. バッテリーセーブ機能【ON / OFF (標準設定 ON)】

1	システムが OFF になっていることを確認します。	
2	リモコンの  ボタンと  ボタンを同時に 2 秒ほど押します。	
3	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。	
4	リモコンの  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押します。	
5	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。	
6	リモコンの  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押します。	
7	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。	
8	リモコンの  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押します。	

9	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。										
10	リモコンの  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押します。										
11	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。										
12	リモコンの  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押します。										
13	“ピッ”と確認音が鳴り、図のようにビーフラッシャーの LED が点灯します。										
14	リモコンの  ボタンを押すたびに確認音が鳴り設定内容が変わります。 設定内容は、確認音の回数とビーフラッシャーの点滅表示によって確認できます。	<table border="0"> <tr> <td>設定内容</td> <td>確認音</td> <td>ビーフラッシャー</td> </tr> <tr> <td>バッテリーセーブ機能 ON</td> <td>ピッ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バッテリーセーブ機能 OFF</td> <td>ピッピッ</td> <td></td> </tr> </table>	設定内容	確認音	ビーフラッシャー	バッテリーセーブ機能 ON	ピッ		バッテリーセーブ機能 OFF	ピッピッ	
設定内容	確認音	ビーフラッシャー									
バッテリーセーブ機能 ON	ピッ										
バッテリーセーブ機能 OFF	ピッピッ										
15	設定したい内容を選択した状態で、リモコンの  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押します。										
16	“ピッピッピュー”と確認音が鳴り、設定完了です。										

※ 15 秒以上操作をしない場合にも、機能設定は終了します。

## 故障かな?と思ったら

症状と原因	対策
<b>☆勝手に警報が鳴る</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メインユニットの固定が不十分</li> <li>・電源線の接触不良</li> <li>・超音波センサーの感度が強すぎる</li> </ul>	確実に固定してください。 電源線を確実に接続してください。 感度を絞ってください。
<b>☆セキュリティをONした後、数秒後に「ピッ」と鳴る</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモリー機能が働いている</li> </ul>	詳細はP.19を参照してください。
<b>☆リモコンが利かない</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同調がずれている</li> <li>・ラジオ局など無線局が近くにある</li> <li>・メインユニットを金属部に固定している</li> <li>・リモコンの電池がない</li> <li>・リモコンの電池の接触不良</li> <li>・バッテリーが弱っている</li> <li>・水の浸入があった</li> </ul>	再度リモコンの同調をしてください。 (取付説明書参照) 車の近くに寄って操作してください。 メインユニットの固定箇所を変えてください。 新しい電池に交換してください。 電池を入れ直してください。 新しいバッテリーに交換してください。 お買い求めの販売店に持ち込み修理を依頼することをお勧めします。 *水の浸入による故障は保証期間内であっても有償修理となります。 イグニッションをOFFにしてください。
<b>☆ドアを開けても警報が鳴らない</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムをONにしてから5秒以上待っていない</li> <li>・ドアトリガー線の接続不良</li> <li>・超音波センサーの感度が弱い</li> </ul>	システムをONにしてから5秒以上待つてください。 ドアトリガー線を確実に配線してください。 超音波センサーの感度設定を適切に行なってください。
<b>☆叩いても警報が鳴らない</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムをONにしてから5秒以上待っていない</li> <li>・車体を揺らしている</li> <li>・感度が弱すぎる</li> <li>・超音波センサーの設置位置が最適でない</li> <li>・黄色線を常時電源に接続している</li> </ul>	システムをONにしてから5秒以上待つてください。 揺れには反応しません。 感度を強めてください。 説明書通りに設置してください。 黄色線は必ずIG ONで+12Vが供給される線に接続してください。

## アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
- 本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。本製品の補修用性能部品は製造打切り後、最低6年間保存しています。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 保証書について

- 製品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受け取りの上、大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号は安全確保上重要なものです。ご購入の際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。お客様の安全管理、アフターサービスのため、保険加入をしない場合でもユーザー登録は必ずユーザー登録兼保険加入申込書(はがき)により郵送にて行なってください。(FAX不可)  
 ユーザー登録がされてない場合にはサポートが受けられない場合がありますのであらかじめご了承ください。  
 車載物盗難保険を希望されない場合は「加入しない」にチェックをしてから投函してください。

## 修理を依頼されるときは

- 故障とお考えの前に取付販売店または当社カスタマーセンターにご相談ください。当社カスタマーセンターへご相談後に検査依頼をされた場合でも、送料はお客様のご負担となります。
- 修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご相談ください。  
 このとき保証書は必ずご提示ください。

- 1 型式名、型番号、シリアル番号  
 (例: ビーセンサー Bee 500 5012204321)
- 2 故障の内容  
 (どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ店名
- 5 お名前、住所、連絡先電話番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 購入店が移転・閉店した場合は、お近くの当社製品取扱店までご相談ください。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、修理を依頼されるときの送料、取り付け・取り外しにかかる工賃などの諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

# お問い合わせ先・製品仕様

●ホーネットについてのお問い合わせは……

## KATO-DENKI

加藤電機株式会社

ホーネットカスタマーセンター

TEL 0569-26-0088

FAX 0569-26-0089

営業時間 月～金 10:00～17:00（土、日、祝祭日、年末年始などは除く）

※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますので  
あらかじめご準備ください。

### 製品仕様

●電源電圧	DC12V
●平均消費電流（監視時）	平均約7mA（セパレーション） 約11mA（ドッキング）
●平均消費電流（警報時）	最大約150mA（セパレーション） 約250mA（ドッキング）
●サイレン音圧	最大約120dB
●使用周囲温度	約-20℃～+60℃
●メインユニット外形寸法	約120×70×35mm（超音波センサー部除く）
●質量	約185g（電池あり） 約145g（電池なし）

販売店